

2006年11月24日

高さはもちろん、美しさや親しみでも世界一になりたい。

新タワーデザインの事業者案が決定しました。

～日本の伝統美と近未来的デザインの融合～

東武鉄道株式会社
新東京タワー株式会社

東武鉄道株式会社（本社：東京都墨田区）と新東京タワー株式会社（本社：東京都墨田区）では、東京都墨田区押上・業平橋地区において高さ約610mの新タワーを核とした多機能複合型の開発プロジェクト「Rising East Project」の検討を進めておりますが、このほど新タワーデザインの事業者案が決定しました。今後、関係各所との協議等を経て最終デザインが決定されます。

新タワー建設にあたっては、「地域とともに活力あるまちづくりに貢献」、「時空を超えたランドスケープの創造」、「防災面での安全・安心の提供」の3つを基本理念としておりますが、このたびのデザイン案は、この3つの理念を具現化した以下の3つのコンセプトに基づき、デザインされております。

新タワーデザインコンセプト

時空を超えた都市景観の創造：日本の伝統美と近未来的デザインの融合

まちの活性化への起爆剤：賑わいと親しみを感じる3つのゲートと2つの展望台

都市防災「安全と安心」への貢献：日本古来の建築「五重塔」に通じる新たな構造システム

新タワーの形状は、伸びやかな曲線の姿に躍動感と創造力が感じられるシルエットとし、日本刀や伝統的日本建築などにみられるゆるやかな曲線「そり」と「むくり」を意識し、タワーの頂部から足元に向かって連続的に変化する形態となっております。この日本文化特有の粋な形態美が、タワーに緊張感と優美な雰囲気をかもし出しています。

また、新タワーの足元は三角形でできており、「3」という数は、三脚のように最も少ない単位で安定が得られ、その合理的な形状により周辺への圧迫感等に配慮し、さらに隅田川・荒川に囲まれた三角形のこの地域を象徴する形状となっております。

日本の伝統的な美意識のもと、先端テクノロジーを駆使して生まれるのが新タワーです。伝統と先端の新しいシンボルとして、時空を超えた新たな景観を創造します。

なお、当デザイン案は、本年7月4日にお知らせしたとおり、建築家で東京大学名誉教授の安藤忠雄氏と、彫刻家で元東京芸術大学学長、島根県芸術文化センター・センター長の日本芸術院会員澄川喜一氏の両氏より、監修いただいております。また本年7月4日～7月24日に実施いたしました『届け！私が想う新タワー』アンケートにより皆様から頂戴したご意見を、監修いただいた安藤・澄川両先生、設計を担当した株式会社日建設計へお伝えし、当デザイン案に反映しております。

新タワーデザインコンセプトおよびアンケート結果の概要は別紙のとおりです。

以上

新タワーデザインコンセプト

1. 時空を超えた都市景観の創造：日本の伝統美と近未来的デザインの融合

東京・墨田という町、江戸・下町という言葉、時には日本という国を思い描くとき、その新しいシンボルが「新タワー」です。

多様な表情を見せる斬新なデザイン

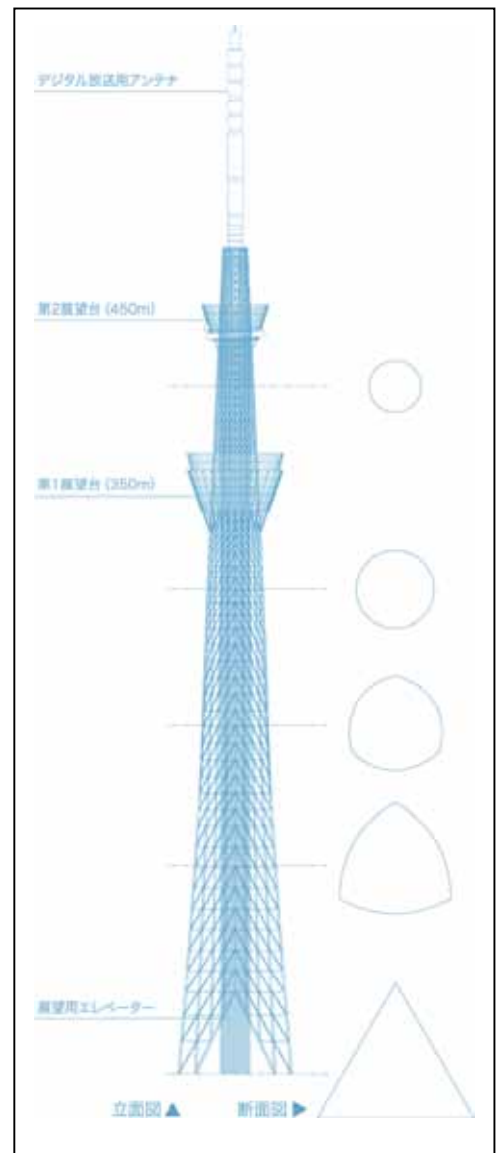
- ・タワーの平面形状は三角形の足元から頂部に向かって円形へと変化していきます。タワー全体で形状の変化「メタモルフォーゼ」を表現し、見る角度により多彩な表情を見せ、他のどの地にもみられないオリジナリティあふれるランドマークとなります。
- ・日本の伝統的な美意識のもと最先端テクノロジーを駆使して生まれた造形が、足元の北十間川から連なる水の系が織り成す風景や下町の粋と融合し、時空を超えた新たな景観を創造します。

日本の美意識を表徴するしなやかな「そり」と「むくり」

- ・新タワーの形状は、伸びやかな曲線の姿に躍動感と創造力が感じられるシルエットとします。日本刀や伝統的日本建築などにみられるゆるやかな曲線「そり」と「むくり」を意識し、タワーの頂部から足元に向かって連続的に変化する形態とします。
- ・この日本文化特有の粋な形態美が、タワーに緊張感と優美な雰囲気を生み出します。

地域の象徴となる3本の足

- ・新タワーは、隅田川・荒川と、都市交通の大動脈である東西軸に囲まれた三角形に象徴された地盤に姿を現します。地域の特性と足元の三角形平面形状が呼応し、この地ならではの立地性を獲得します。新タワーの形態は地域の象徴である三角形と天の象徴である円との融和の表現です。
- ・鼎（かなえ）や三脚は最も少ない単位で安定が得られる合理的な形状であり、昔から幸喜に通じるという言い伝えがあります。
- ・日本の鍋の原型である「鼎」は中国より伝わってきたもので、安定した形の3本足となっています。古代中国では先祖や天地の神々を祭る際に用いられ、王権の象徴としても重視され、礼器の中でも最も尊ばれていました。



2. まちの活性化への起爆剤：賑わいと親しみを感じる3つのゲートと2つの展望台

新タワーは、伝統的な江戸文化の残る地域に光を当て、その賑わいが街に広がり地域の活性化の起爆剤となります。

訪れる人を迎え入れる3つのゲート

- ・新タワーの足元には訪れた人を迎え入れるゲートのように、3本の足が開かれたような形となっています。人を迎え入れ施設への入口となるゲートであるとともに、街と街・人と人との交流を象徴するゲートでもあります。

視覚的楽しさを生み出す2つの展望台

- ・新タワーには、地上350mの大きな展望空間と450mの空中回廊という2つの展望施設を設置します。

- ・ 2つの特徴的な形状の展望台と頂部のアンテナによりタワー塔体にリズミカルで親しみのもてる視覚的な楽しさを生み出しています。
- ・ 訪れる人々は、地上350mからは下町や東京の賑わいを、450mからは東京湾や関東平野を見渡し、さらに、遠い江戸から未来にまで思いを馳せるでしょう。

3. 都市防災「安全と安心」への貢献：日本古来の建築「五重塔」に通じる新たな構造システム

- ・ 新タワーは日本古来の建築技術を現代的に解釈し、耐震性・耐風性に優れた最先端の構造システムを構築します。

最新の制振システム

- ・ 日本独自の建築技術の代表とも言える五重塔は、心柱（しんばしら）を中心として各層が独立した構造となっています。心柱は相輪を支える部分が発達したものと云われますが、地震や強風時、塔体各層との間に生じる相互作用により揺れを低減する役割があると考えられています。
- ・ 新タワーの構造システムはこの五重塔にみられる制振システムを最新の技術で再現しようとするものです。地上塔体部を鉄骨編籠造りの「塔体」とし、中央のチューブを鉄筋コンクリート造の「心柱」とするハイブリッド構造を採用します。また、「塔体」と「心柱」の間にダンパーを設置して揺れのエネルギーを吸収する制振構造とし、強風時や地震時の揺れを抑え、電波鉄塔としての機能向上を図ります。

以上

【デザイン監修者コメント】

安藤忠雄氏 建築家、東京大学名誉教授



新タワーのデザインは装飾的に凝ったものではなく、シンプルで街の風景に溶け込むようなものが市民に永く愛されると思います。市民アンケートで「新たな都市景観の登場」が求められていますが、それは奇抜で目立つということではなく、周りの風景といかに調和しながら地域のランドマークとして愛されるかということであると捉えています。また、東京は大都市の中では稀にみる水と緑の豊富な都市です。当敷地は浅草に近く河川と隣接していることから、全体計画は下町の雰囲気を活かすことや水辺空間との関係も合わせて考えていくのが良いと思います。隅田川・北十間川の水と敷地から広がる緑が一体となり、タワーの展望台から美しい風景として眼下に広がることを期待しています。

澄川喜一氏 彫刻家、元東京芸術大学学長

島根県芸術文化センター・センター長、日本芸術院会員



市民アンケートによると、タワーデザインに求められているのは「日本的」と「未来的で斬新」という相反するものでした。日本の伝統を継承しながら、これまでにない斬新なデザインとすることが一番の課題でした。そこで日本の古代建築の代表である五重塔の構造を現代の制振システムとして応用したり、タワーの形状に日本的な「そり」「むくり」といった曲線美の要素を取り入れる一方で、従来のタワーデザインの延長ではないシンプルなプロポーションを採用しています。600m級の高さに位置するアンテナと塔体との視覚的なバランスも、五重塔に倣い均整のとれた美しい印象を与えるようにしています。天へ垂直に伸びる姿が東京の新たなランドマークとなることを期待しています。

新タワーの概要

- ・タワーの高さ 約610m
- ・施設の内容 展望施設（第1展望台350m、第2展望台450m）
放送施設、店舗、レストラン等
- ・事業主体 新東京タワー株式会社

今後のスケジュール

- 2006（平成18）年度 基本設計
- 2007（平成19）年度 実施設計
- 2008（平成20）年度 着工
- 2011（平成23）年度 開業

新東京タワー株式会社 会社概要

- ・会社名 新東京タワー株式会社
- ・本社所在地 東京都墨田区押上一丁目1番2号
- ・資本金 4億円（東武鉄道全額出資）
- ・代表者 取締役社長 宮杉 欣也
- ・設立時期 2006年5月1日
- ・従業員数 12名



隅田川より新タワーを望む



北十間川の水景と新タワー



第一展望台から見た隅田川の花火



都心を一望できる世界一の展望タワー



賑わいあふれるタワーへのアプローチ

- 1 イメージ写真・パースは全て現時点での想定に基づくものであり、今後の検討により変更することがあります。
- 2 各画像を使用する場合はクレジット「東武鉄道・新東京タワー提供」を明記してください。

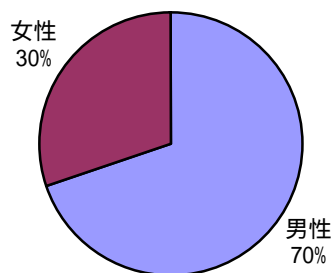
『届け！私が想う新タワー』アンケート結果

- 1. 応募期間 2006年7月4日(火)～7月24日(月)
- 2. 応募資格 年齢、性別、国籍を問わず
- 3. 応募方法 「すみだタワーホームページ」からの応募
- 4. 応募総数 5,079名

5. 内 訊

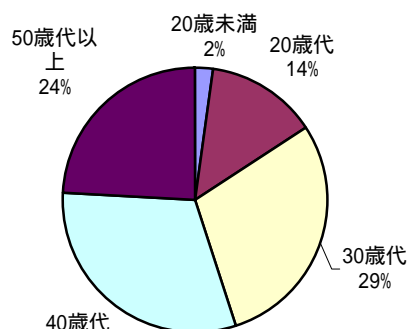
(1) 性別

男 性	3,543名
女 性	1,536名



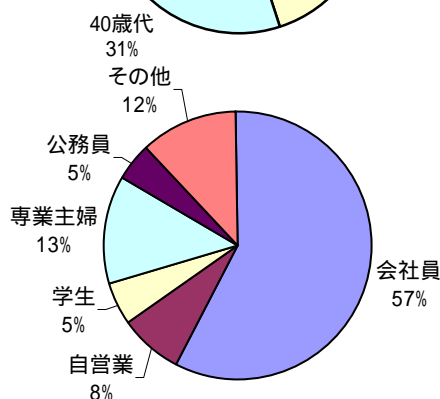
(2) 年齢

20歳未満	106名
20歳代	693名
30歳代	1,481名
40歳代	1,568名
50歳以上	1,231名



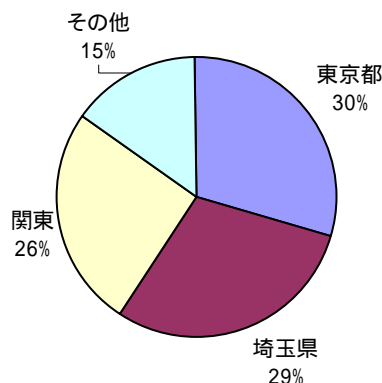
(3) 職業

会社員	2,900名
自営業	406名
学 生	252名
専業主婦	677名
公務員	237名
その他	607名



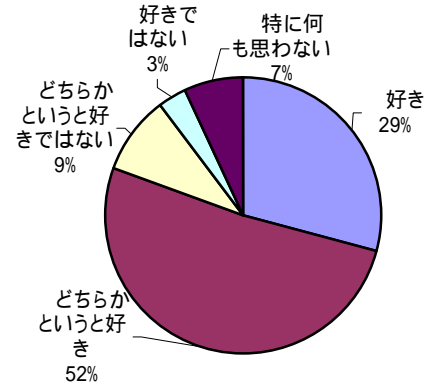
(4) 居住地域

東 京	1,508名
埼 玉	1,488名
関 東	1,302名
その他	781名



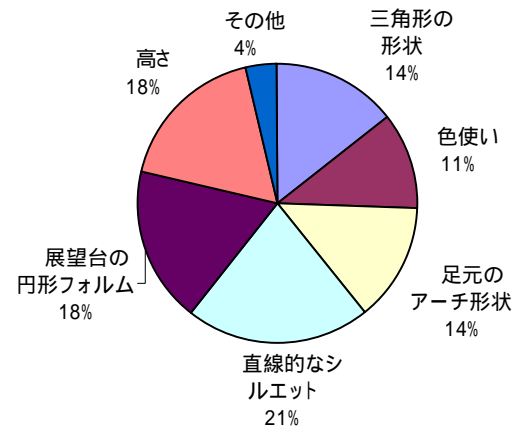
Q 1 . 現在の新タワーの施設計画をどのように思いますか。(おひとつお選びください。)

好き	1,488名
どちらかという好き	2,597名
どちらかという好きではない	474名
好きではない	167名
特に何も思わない	353名



Q 2 . 前問でお答えいただいた回答の理由を、下記よりお選びください。(複数回答可能)

三角形の形状	1,306名
色使い	999名
足元のアーチ形状	1,237名
直線的なシルエット	1,920名
展望台の円形フォルム	1,638名
高さ	1,603名
その他	319名

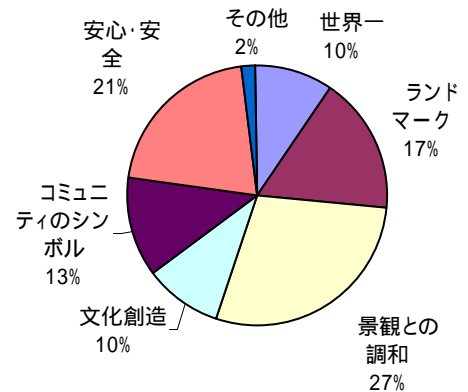


【フリー回答】

- ・ 鋭角的なシルエットの中にどこことなく柔らかい味があって、ほどよく親しみが持てる感じがする。
- ・ 近未来的な姿が明日の日本を象徴しているようで、素晴らしい。

Q 3 . 新タワーに求めるものは何ですか。(複数回答可能)

世界一	1,149名
ランドマーク	1,966名
景観との調和	3,281名
文化創造	1,132名
コミュニティのシンボル	1,475名
安心・安全	2,497名
その他	192名

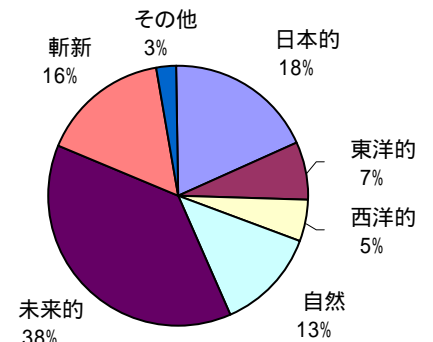


【フリー回答】

- ・ 日本人として、世界に誇れるものであって欲しい。
- ・ 日本の歴史や文化を感じさせつつも、新しい時代のシンボルとなって欲しい。
- ・ 震災にも耐え、都市防災に貢献する「安全のシンボル」になって欲しい。

Q 4 . 新タワーのデザインのモチーフのイメージはどのようなものですか。(複数回答可能)

日本的	1,509名
東洋的	599名
西洋的	401名
自然	1,028名
未来的	3,094名
斬新	1,329名
その他	208名

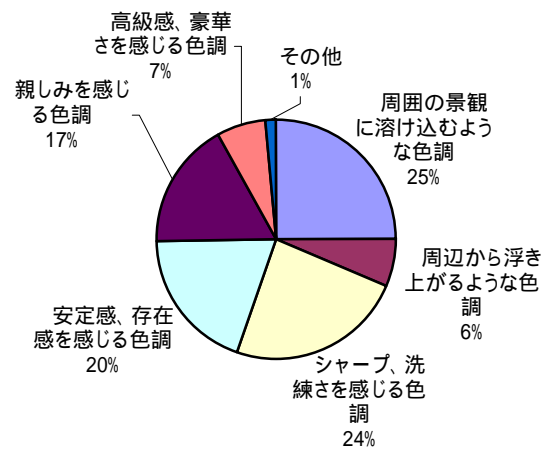


【フリー回答】

- ・ 灯籠や五重塔のような「和の美しさ」が表現できたら素晴らしい。
- ・ 新しい時代を感じさせるような、近未来的なデザインが見てみたい。
- ・ 外国人から見ても日本の文化を感じさせ、それでいて斬新なデザインを望む。
- ・ 時の経過とともに、日本の文化や風景の中に溶け込み、クラシック音楽のように永く愛されるデザインを希望する。

Q 5 . 新タワーのイメージカラーとしてはどのようなものがふさわしいですか。(複数回答可能)

周囲の景観に溶け込むような色調	2, 3 2 1 名
周辺から浮き上がるような色調	5 8 0 名
シャープ、洗練さを感じる色調	2, 2 2 7 名
安定感、存在感を感じる色調	1, 8 0 9 名
親しみを感じる色調	1, 5 7 4 名
高級感、豪華さを感じる色調	6 1 8 名
その他	1 3 8 名

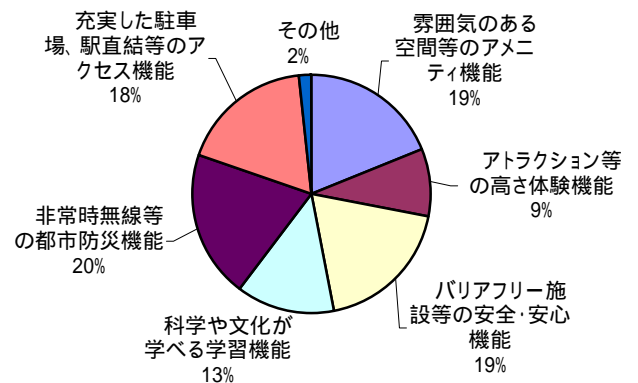


【フリー回答】

- ・ 周囲の雰囲気と調和しながら、それでいてしっかりとした存在感のある色調。
- ・ 朝と夕、昼と夜、季節によって、見る人の気持ちによって多様な見え方のする色使い。

Q 6 . 新タワーに望む機能は何ですか。

雰囲気のある空間等のアメニティ機能	2, 4 9 8 名
アトラクション等の高さ体験機能	1, 1 9 8 名
バリアフリー施設等の安全・安心機能	2, 4 9 1 名
科学や文化が学べる学習機能	1, 7 3 0 名
非常時無線等の都市防災機能	2, 6 4 5 名
充実した駐車場、駅直結等のアクセス機能	2, 3 8 1 名
その他	2 1 7 名

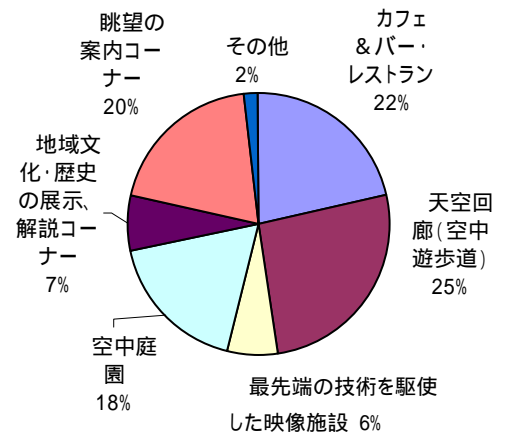


【フリー回答】

- ・ 便利さや快適さに加えて、過去と未来の日本や東京の文化の情報を発信する機能。
- ・ 人々が安らぎや憩いを感じられるような空間。
- ・ お祭りやイベントが催され、賑わいがあって、気軽に歩いて楽しめる街。

Q7. 新タワーの展望台に欲しい施設は何ですか。(複数回答可能)

カフェ＆バー・レストラン	2,841名
天空回廊(空中遊歩道)	3,407名
最先端の技術を駆使した映像施設	802名
空中庭園	2,392名
地域文化・歴史の展示、解説コーナー	898名
眺望の案内コーナー	2,621名
その他	217名

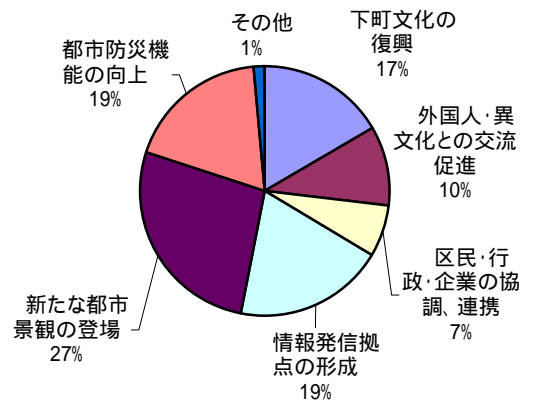


【フリー回答】

- ・ 東京と関東平野のパノラマビューを楽しみながら、展望を解説してくれる学習施設。
- ・ 子供連れでもカップルでも、それぞれの人が思い思いに寛げるカフェやレストラン。
- ・ 展望を背景にきれいな写真が取れるコーナー。

Q8. 新タワープロジェクトに期待する効果は何ですか。(複数回答可能)

下町文化の復興	1,930名
外国人・異文化との交流促進	1,183名
区民・行政・企業の協調、連携	786名
情報発信拠点の形成	2,247名
新たな都市景観の登場	3,097名
都市防災機能の向上	2,165名
その他	165名

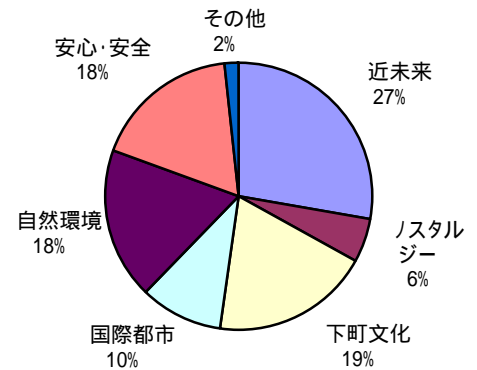


【フリー回答】

- ・ 新タワー周辺の地域や下町文化の活性化。
- ・ 大地震に備えた防災拠点づくり。

Q 9 . 新タワーの周辺の街づくりにどのようなイメージを期待されますか。(複数回答可能)

近未来	1,404名
ノスタルジー	281名
下町文化	974名
国際都市	508名
自然環境	926名
安心・安全	906名
その他	80名

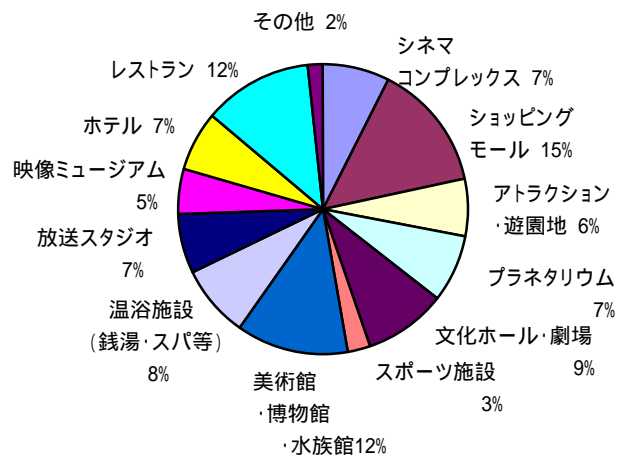


【フリー回答】

- ・ 下町文化を保ちつつ、国際都市東京の新しい顔となることを期待する。
- ・ 六本木や表参道とは異なるこの地域の雰囲気を生かした、暖かさや親しみのある街のイメージ。
- ・ 川のある風景など、この地域の自然環境と調和した都市景観。

Q 10 . 新タワー周辺に欲しい施設は何ですか。(複数回答可能)

シネマコンプレックス	1,304名
ショッピングモール	2,462名
アトラクション・遊園地	1,129名
プラネタリウム	1,307名
文化ホール・劇場	1,577名
スポーツ施設	465名
美術館・博物館・水族館	2,148名
温浴施設(銭湯、スパ等)	1,404名
放送スタジオ	1,168名
映像ミュージアム	910名
ホテル	1,150名
レストラン	2,119名
その他	295名



【フリー回答】

- ・ IT、通信関係企業のアンテナショップ。パソコン、携帯の最新技術紹介展示を一度に見られたらうれしい。
- ・ 外国からのお客様を意識した各国料理のお店と下町風情が感じられる店舗。
- ・ 放送と映像に関する最新鋭の施設を設けて欲しい。

Q 1 1 . 新タワーへの私のメッセージ

フリー回答数

3 , 2 8 2 名

【フリー回答】

- ・ 一時的なブームではなく、いつも新鮮な、21 世紀を代表する建造物になってもらいたい。
- ・ これまでの歴史や文化、環境、景観に配慮しつつ、地域社会や東京の発展の起爆剤になって欲しい。
- ・ 新タワーを見上げると元気がでるような、身近で、親しみのあるタワーになってもらいたい。
- ・ 下町の懐かしい風景がある、そんな私の風景のうえに子供たちの新しい歴史が作られる。懐かしさと、子供たちへの未来、次世代との架け橋になるタワー、そんな新タワーであってほしい。

以 上